

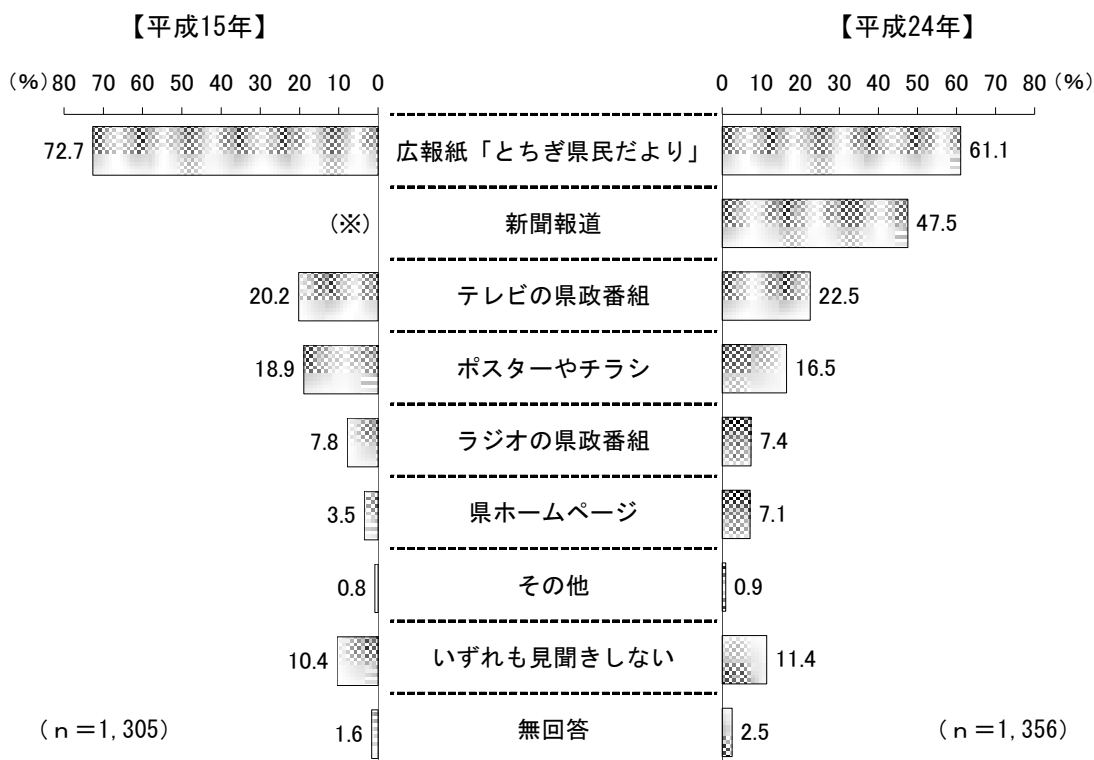
## 4 広報・広聴活動について

### (1) 県政情報の入手手段

問11 あなたは、県の事業や催し、試験などの情報をどのような方法でお知りになりますか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,356]

1	広報紙「とちぎ県民だより」	61.1%	5	新聞報道	47.5%
2	テレビの県政番組	22.5	6	ポスターやチラシ	16.5
3	ラジオの県政番組	7.4	7	その他	0.9
4	県ホームページ	7.1	8	いずれも見聞きしない	11.4
				(無回答)	2.5

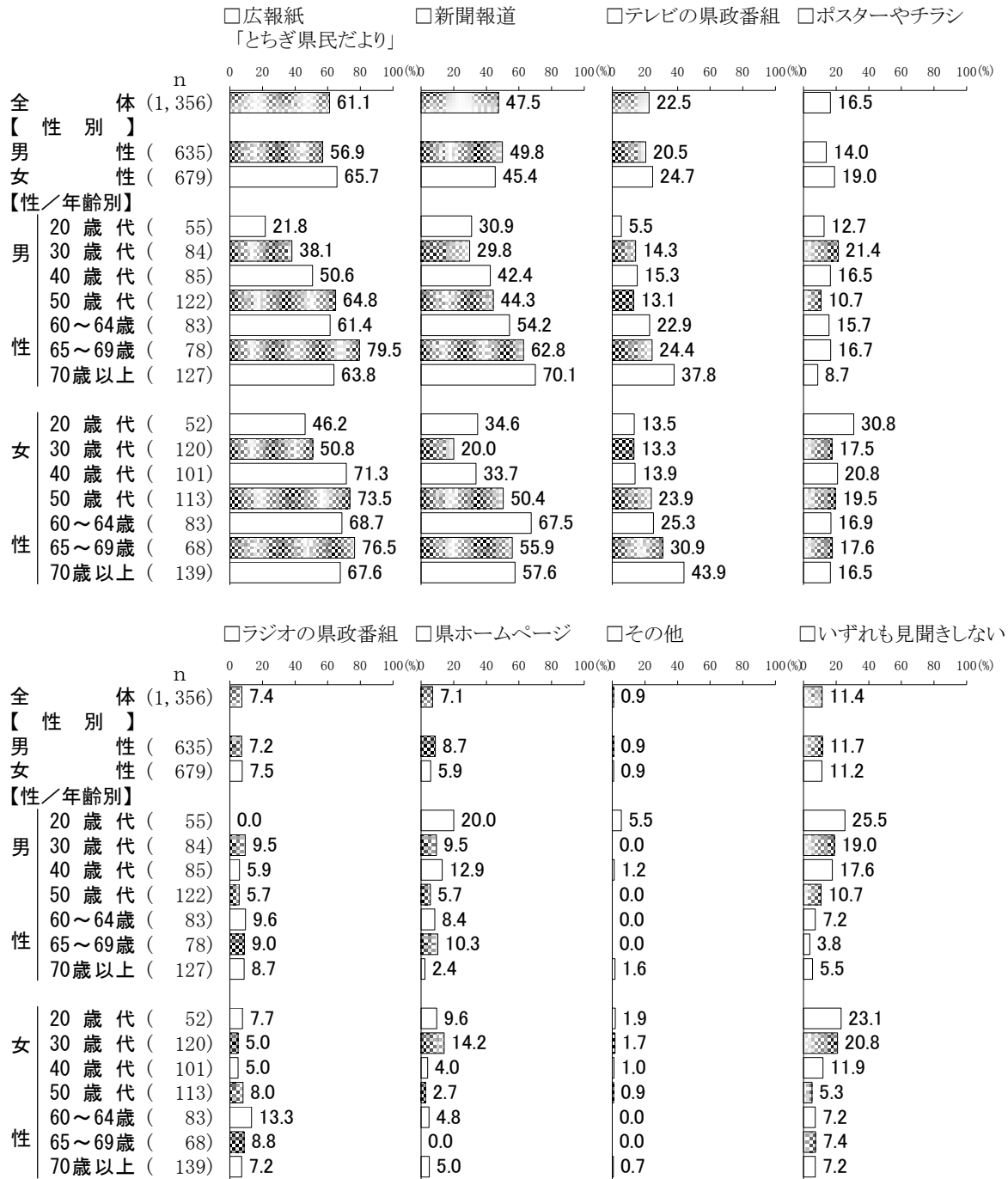


(※)平成15年調査では「新聞報道」の選択肢は聞いていない。また、「新聞広告（毎月1日の新聞に掲載しているお知らせなど）」（39.8%）、「広報誌（銀行や病院、理美容院、公共施設などに置いてあるグラフ誌）」（8.5%）の選択肢を聞いていた。

全体で見ると、広報紙「とちぎ県民だより」（61.1%）が6割を超えて最も高く、次いで「新聞報道」（47.5%）、「テレビの県政番組」（22.5%）、「ポスターやチラシ」（16.5%）、「ラジオの県政番組」（7.4%）、「県ホームページ」（7.1%）の順となっている。

平成15年の調査結果を比較すると、広報紙「とちぎ県民だより」が11.6ポイント減少している。

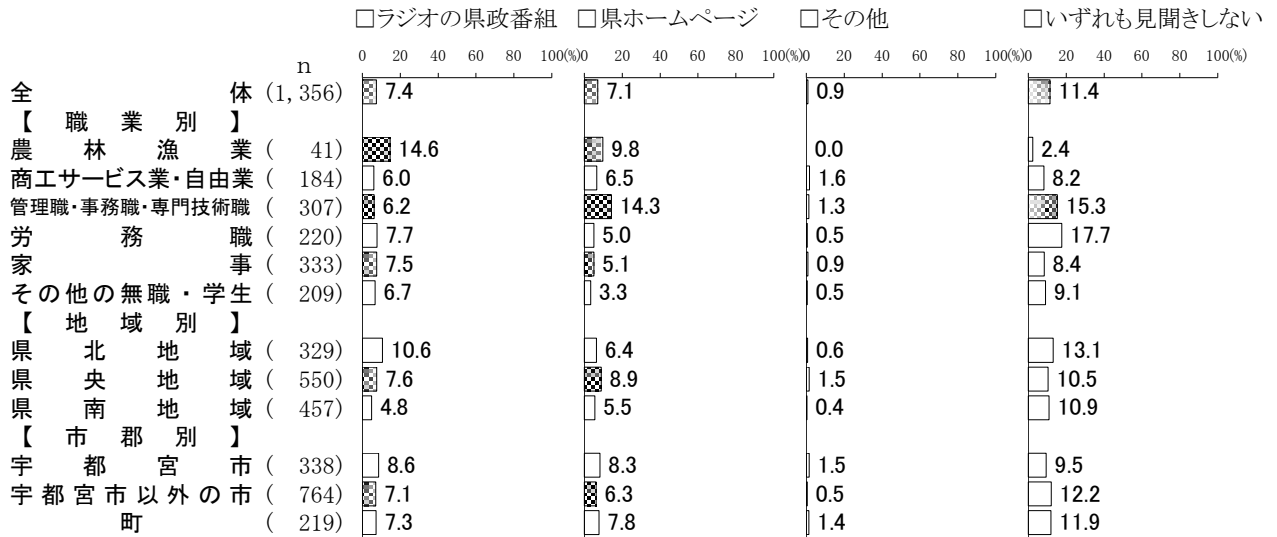
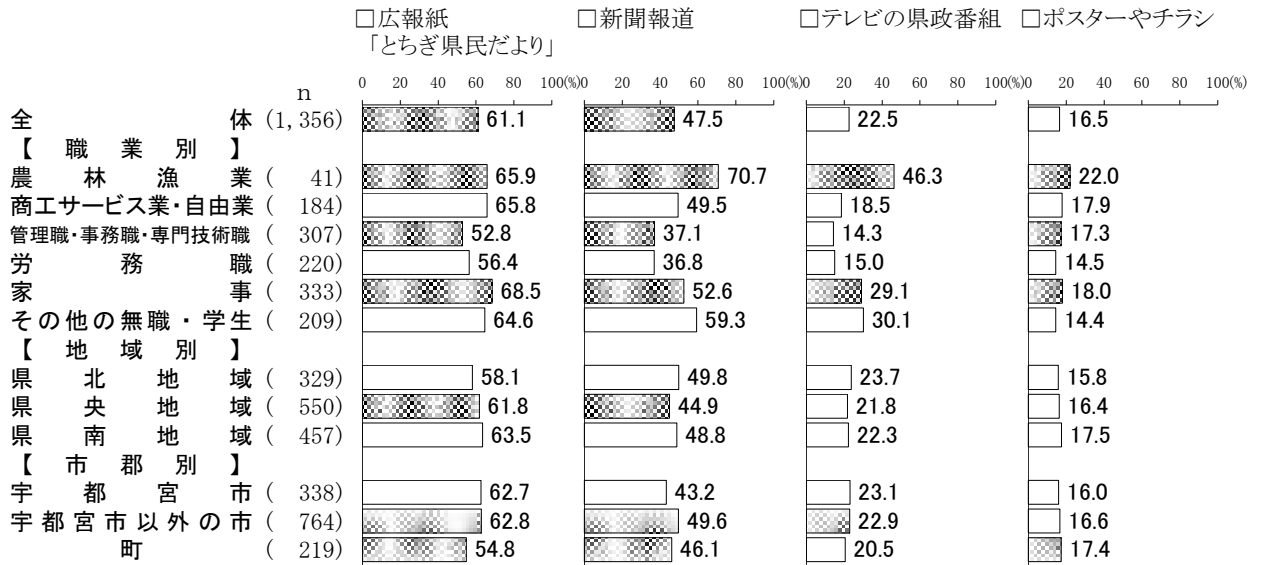
[性別・性／年齢別]



性別でみると、広報紙「とちぎ県民だより」では〈女性〉(65.7%)が〈男性〉(56.9%)より8.8ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、広報紙「とちぎ県民だより」では〈男女とも20歳代と30歳代〉が〈男女とも40歳以上の各年代〉に比べて割合が低くなっており、特に〈男性20歳代〉が21.8%、〈男性30歳代〉が38.1%となっている。「新聞報道」では〈男性70歳以上〉が70.1%、〈女性60~64歳〉が67.5%となっている。「テレビの県政番組」では〈女性70歳以上〉が43.9%、「ポスターやチラシ」では〈女性20歳代〉が30.8%、〈県ホームページ〉では〈男性20歳代〉が20.0%と高くなっている。

[職業別・地域別・市郡別]



職業別でみると、広報紙「とちぎ県民だより」では〈管理職・事務職・専門技術職〉(52.8%)と〈労務職〉(56.4%)で、他の職業に比べて割合が低くなっている。「新聞報道」では〈農林漁業〉が70.7%、「テレビの県政番組」では〈農林漁業〉が46.3%と高くなっている。

地域別でみると、広報紙「とちぎ県民だより」では〈県南地域〉が63.5%と高くなっている。

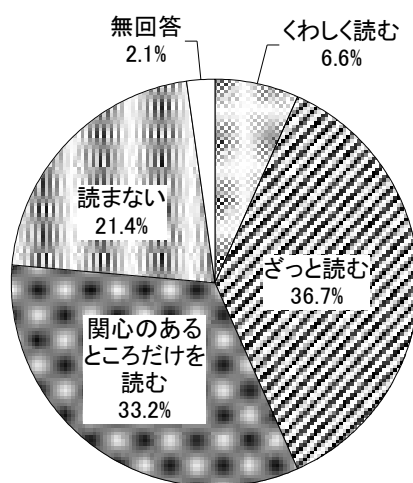
市郡別でみると、広報紙「とちぎ県民だより」では〈町〉が54.8%で、〈宇都宮市以外の市〉(62.8%)や〈宇都宮市〉(62.7%)と比べて低くなっている。

## (2)「とちぎ県民だより」の閲読状況

問12 県では、新聞折り込みで、毎月第一日曜日に広報紙「とちぎ県民だより」を発行していますが、あなたはどの程度読んでいますか。次の中から1つ選んでください。

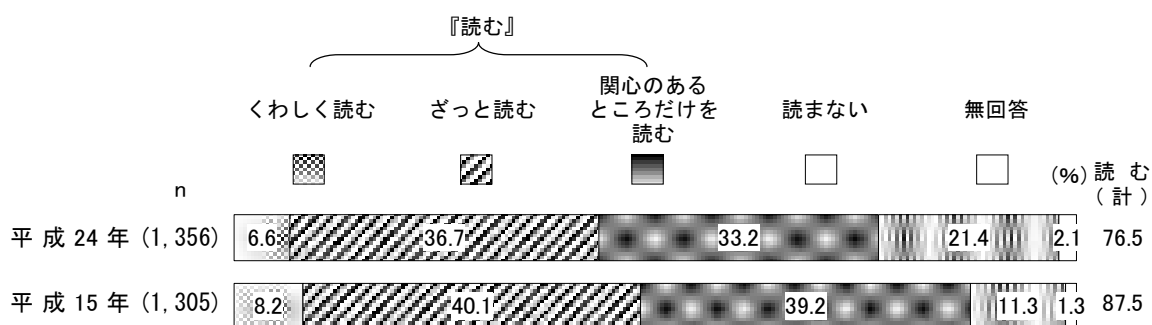
[n=1,356]

1	くわしく読む	6.6%	3	関心のあるところだけを読む	33.2%
2	ざっと読む	36.7	4	読まない	21.4
				(無回答)	2.1



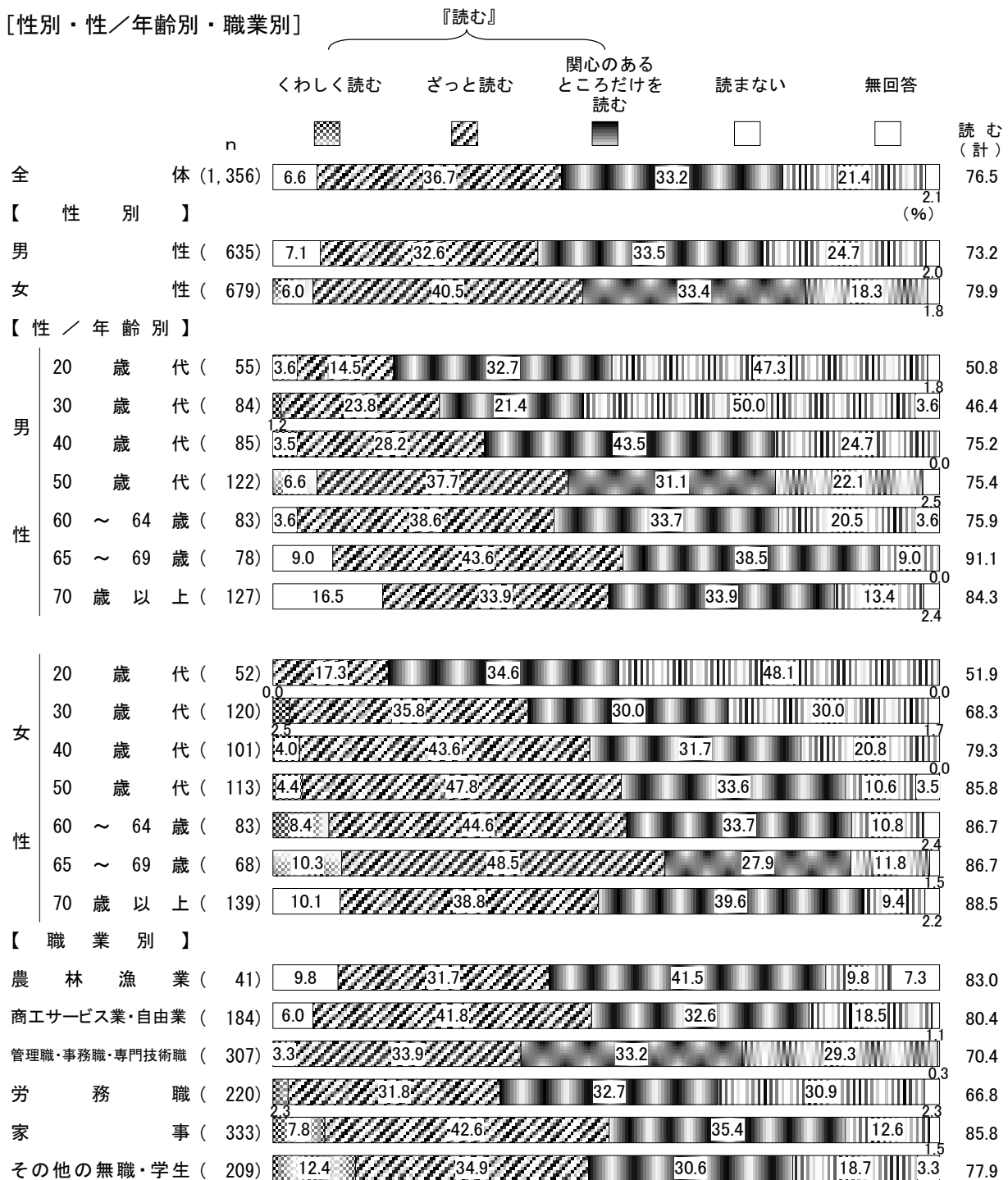
(n=1,356)

全体で見ると、「くわしく読む」(6.6%)と「ざっと読む」(36.7%)、「関心のあるところだけ読む」(76.5%)の3つを合わせた『読む』(76.5%)は8割近くとなっている。一方、「読まない」(21.4%)は2割を超えている。



平成15年の調査結果と比較すると、『読む』は11.0ポイント減少している。一方、「読まない」は10.1ポイント増加している。

【性別・性／年齢別・職業別】

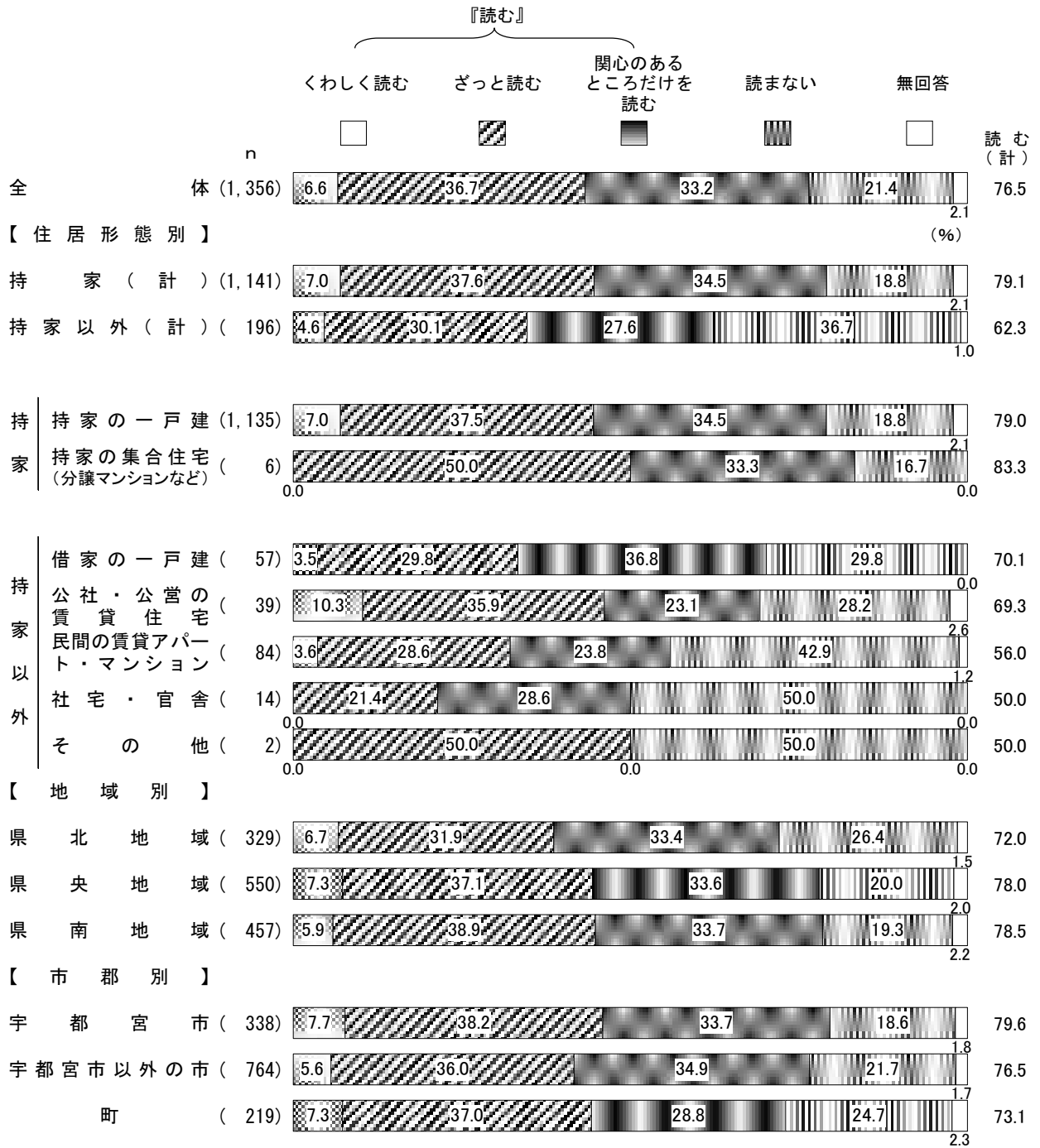


性別でみると、「ざっと読む」では、〈女性〉(40.5%)が〈男性〉(32.6%)より7.9ポイント高く、「読まない」では〈男性〉(24.7%)が〈女性〉(18.3%)より6.4ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「くわしく読む」では〈男性70歳以上〉が16.5%と高くなっている。また、「ざっと読む」では、〈女性50歳代〉(47.8%)と〈女性65~69歳代〉(48.5%)、「関心のあるところだけ読む」では、〈男性40歳代〉(43.5%)が、いずれも5割近くとなっている。「読まない」では〈男性20歳代〉(47.3%)、〈男性30歳代〉(50.0%)、〈女性20歳代〉(48.1%)が5割前後と高くなっている。

職業別でみると、「読まない」では〈労務職〉が30.9%、〈管理職・事務職・専門技術職〉が29.3%と高くなっている。

[住居形態別・地域別・市郡別]



住居形態別で見ると、「読まない」では〈持家以外(計)〉(36.7%)が〈持家(計)〉(18.8%)より17.9ポイント高くなっている。

地域別で見ると、「読まない」では〈県北地域〉が26.4%で最も高くなっている。

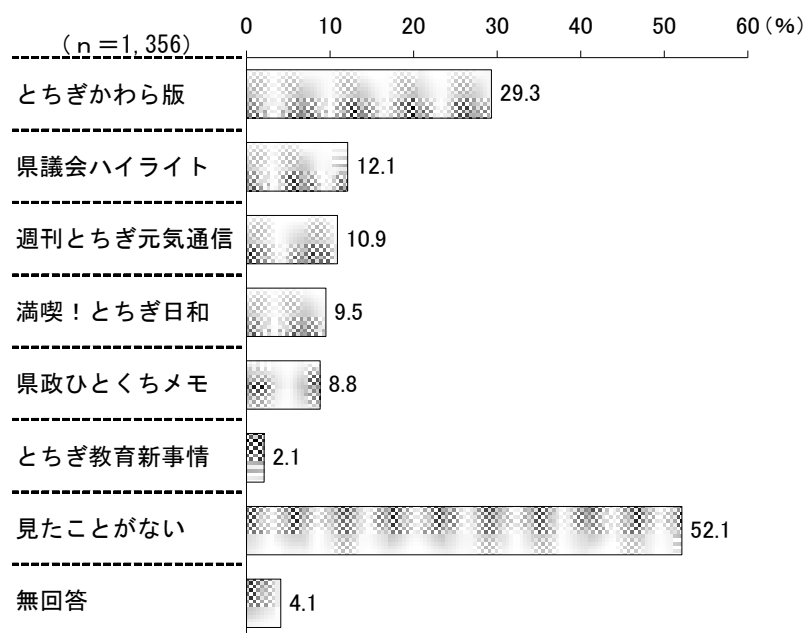
市郡別で見ると、「読まない」では〈町〉が24.7%で最も高くなっている。

### (3) とちぎテレビの県政番組の視聴状況

問13 県では、県政番組をとちぎテレビで提供していますが、あなたは見たことがありますか。見たことのある番組を、次の中からいくつでも選んでください。

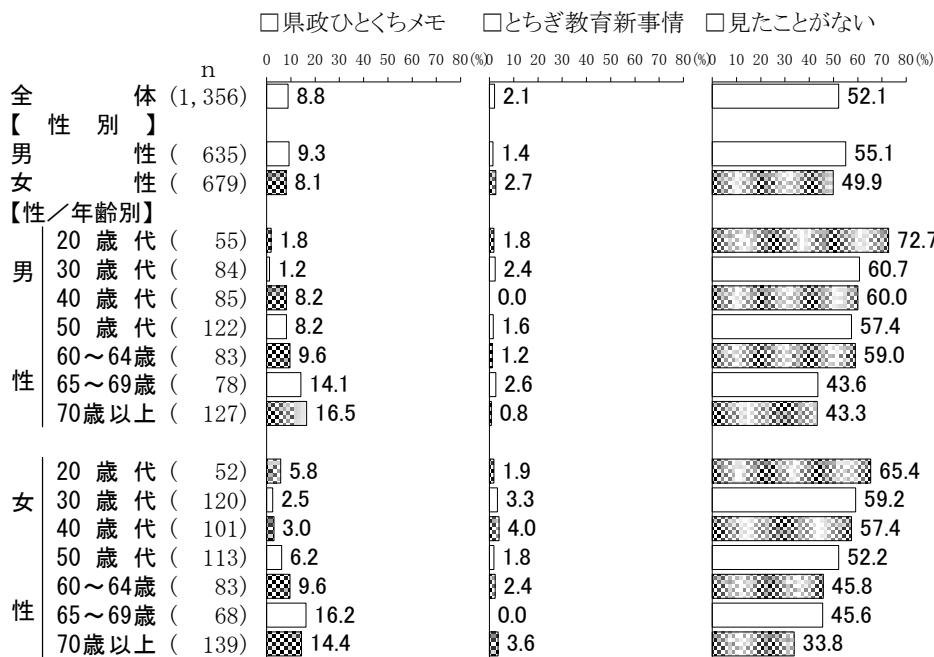
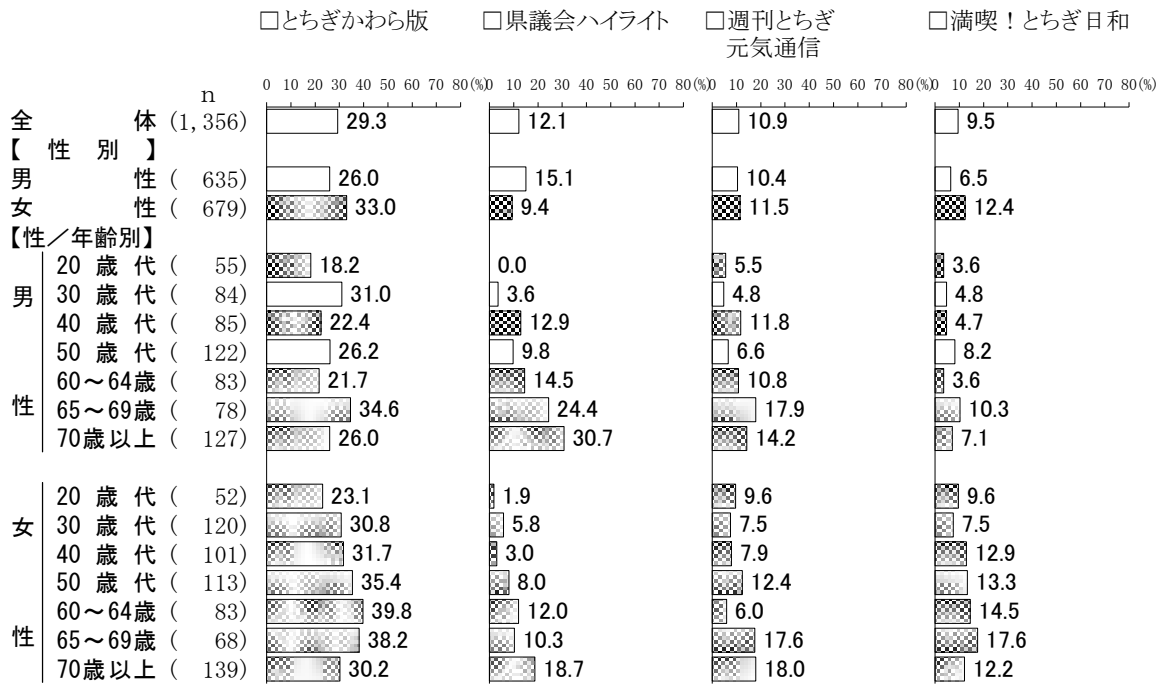
[n=1,356]

1	週刊とちぎ元気通信	10.9%	5	県議会ハイライト	12.1%
2	満喫！とちぎ日和	9.5	6	とちぎ教育新事情	2.1
3	県政ひとくちメモ	8.8	7	見たことがない	52.1
4	とちぎかわら版	29.3		(無回答)	4.1



全体で見ると、「とちぎかわら版」(29.3%)がほぼ3割で最も高く、次いで「県議会ハイライト」(12.1%)、「週刊とちぎ元気通信」(10.9%)、「満喫！とちぎ日和」(9.5%)、「県政ひとくちメモ」(8.8%)、「とちぎ教育新事情」(2.1%)の順となっている。一方、「見たことがない」(52.1%)は5割を超えている。

[性別・性／年齢別]

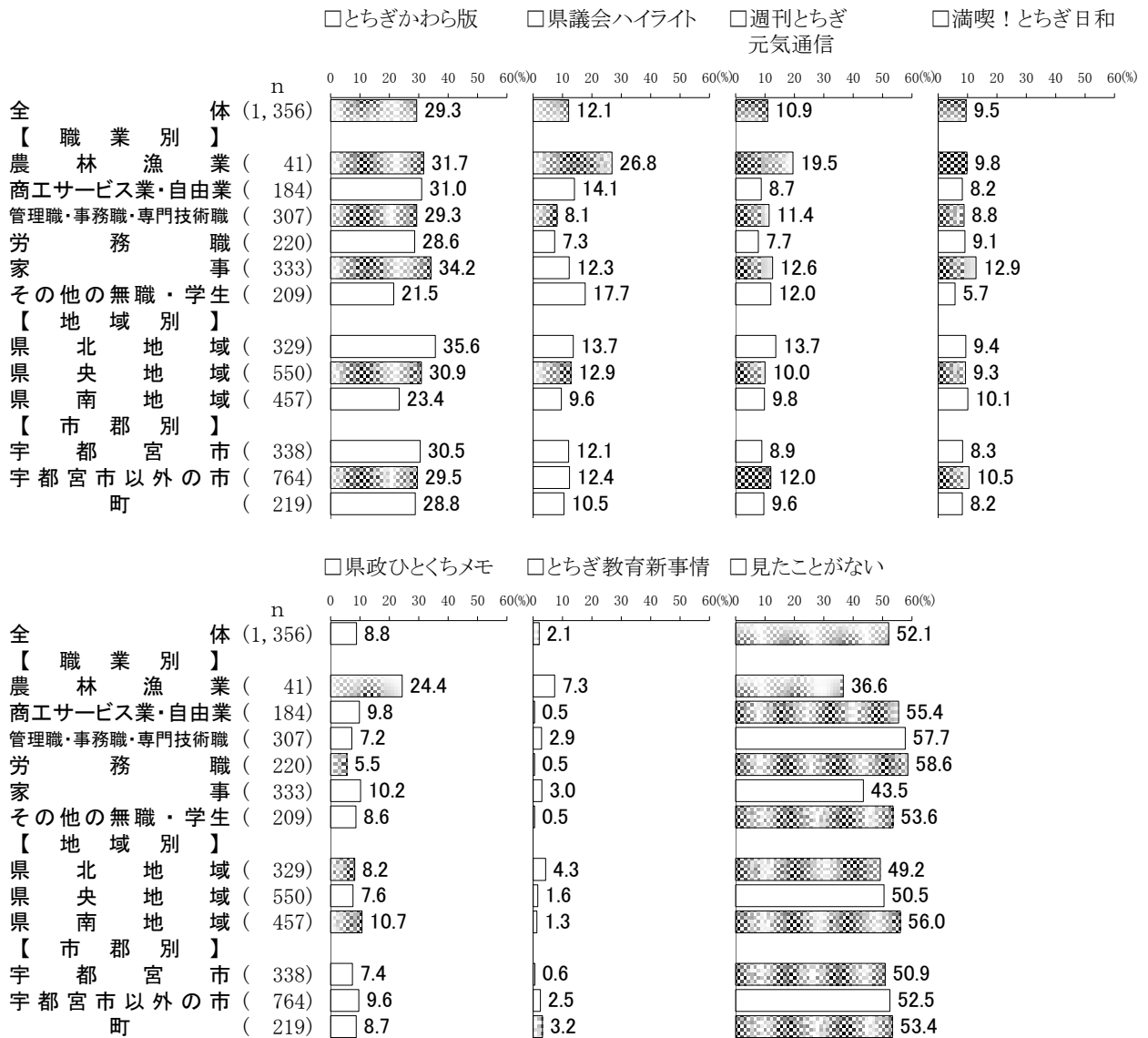


性別で見ると、「とちぎかわら版」では〈女性〉(33.0%)が〈男性〉(26.0%)より7.0ポイント高く、「見たことがない」では〈男性〉(55.1%)が〈女性〉(49.9%)より5.2ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「とちぎかわら版」では〈女性 60~64歳〉が39.8%、〈女性 65~69歳〉が38.2%と高くなっている。また、「県議会ハイライト」では〈男性 70歳以上〉が30.7%と高くなっている。一方、「見たことがない」では〈男性 20歳代〉が72.7%、〈女性 20歳代〉が65.4%と高くなっている。



[職業別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「とちぎかわら版」では〈家事〉が 34.2%で高くなっている。「県議会ハイライト」では〈農林漁業〉が 26.8%、「週刊とちぎ元気通信」では〈農林漁業〉が 19.5%、「県政ひとくちメモ」では〈農林漁業〉が 24.4%と高くなっている。

地域別でみると、「とちぎかわら版」では〈県北地域〉が 35.6%で他の地域に比べて高くなっている。

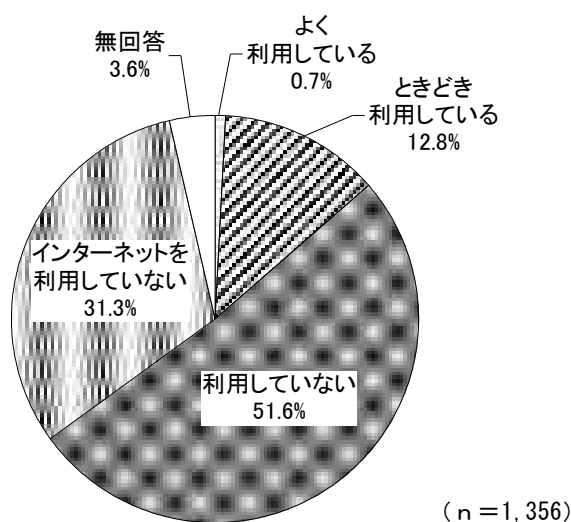
市郡別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

#### (4) 県ホームページの利用状況

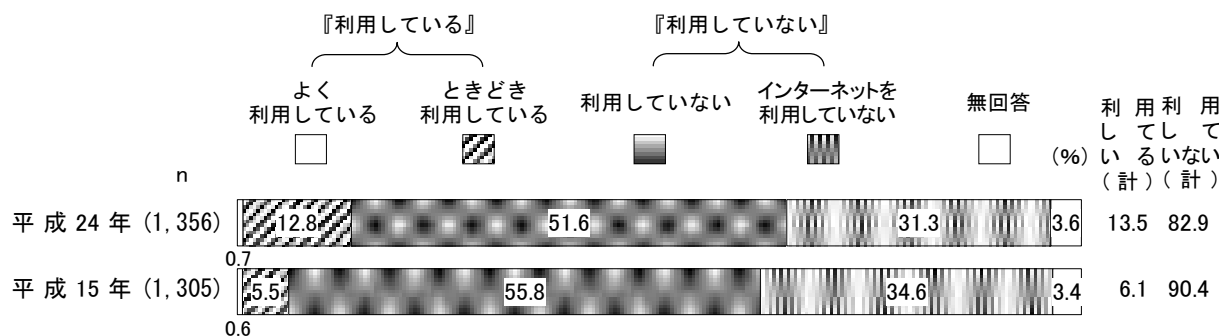
問14 県では、インターネットで県政情報を発信していますが、あなたは県のホームページを利用したことがありますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,356]

1	よく利用している	0.7%	3	利用していない	51.6%
2	ときどき利用している	12.8	4	インターネットを利用していない	31.3
				(無回答)	3.6



全体で見ると、「よく利用している」(0.7%)と「ときどき利用している」(12.8%)の2つを合わせた『利用している』(13.5%)は1割を超えている。一方、「利用していない」(51.6%)と「インターネットを利用していない」(31.3%)の2つを合わせた『利用していない』(82.9%)は8割を超えている。

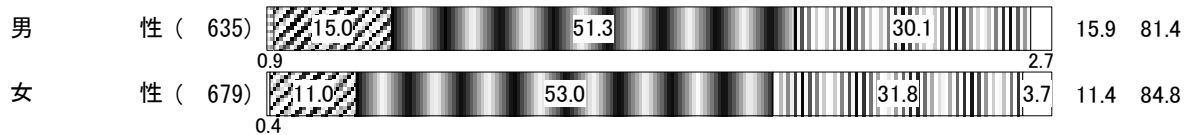


平成15年の調査結果と比較すると、『利用している』が7.4ポイント増加している。

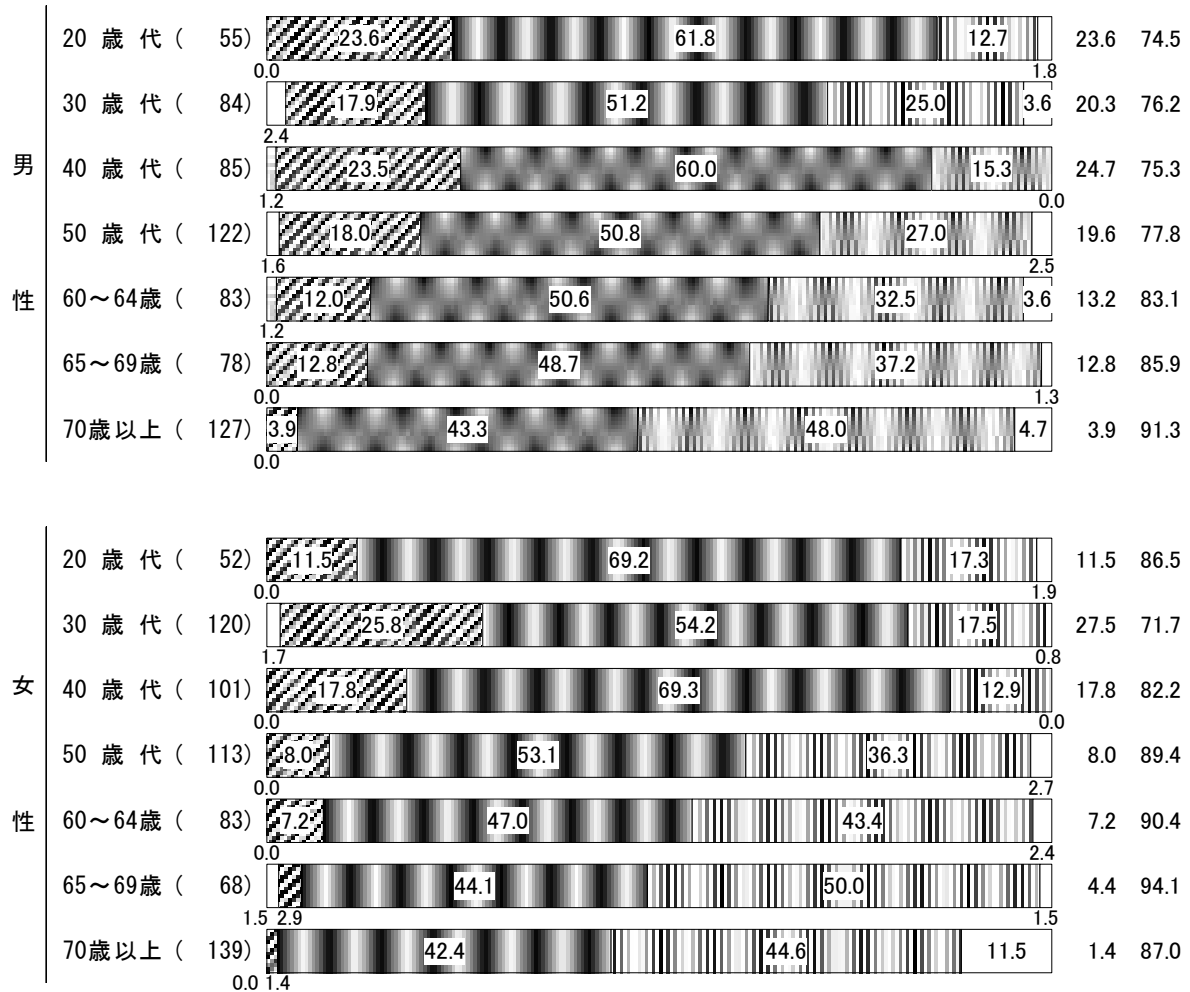
[性別・性／年齢別]



【性別】



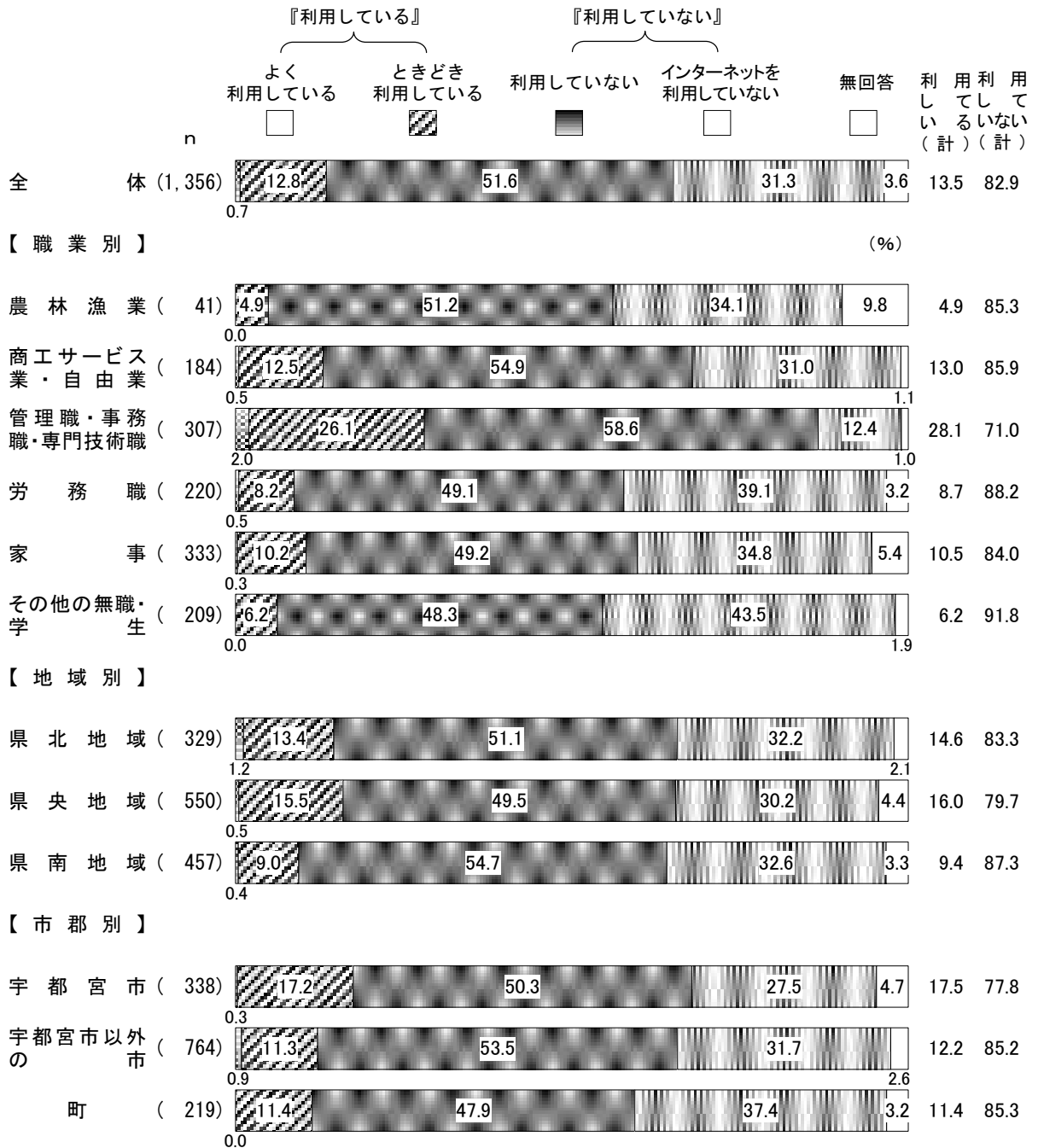
【性／年齢別】



性別で見ると、『利用している』では〈男性〉(15.9%)が〈女性〉(11.4%)より4.5ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『利用している』では〈女性30歳代〉(27.5%)と〈男性の20歳代から40歳代の各年代〉で2割以上となっている。

[職業別・地域別・市郡別]



職業別でみると、『利用している』では〈管理職・事務職・専門技術職〉が28.1%と他の職業に比べて高くなっている。

地域別でみると、『利用している』では〈県央地域〉(16.0%)や〈県北地域〉(14.6%)に比べて、〈県南地域〉(9.4%)で割合が低くなっている。

市郡別でみると、『利用している』では〈宇都宮市〉が17.5%と宇都宮市以外の市、町に比べて高くなっている。

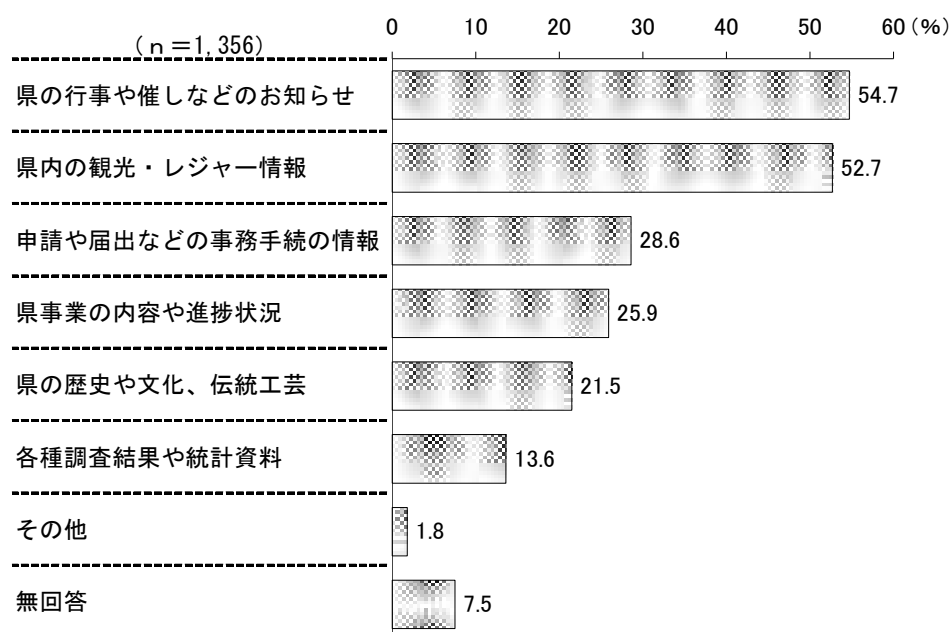
(5) 県政情報で関心のあるもの

問15 あなたは、県のどのような情報を知りたいですか。

次の中からいくつでも選んでください。

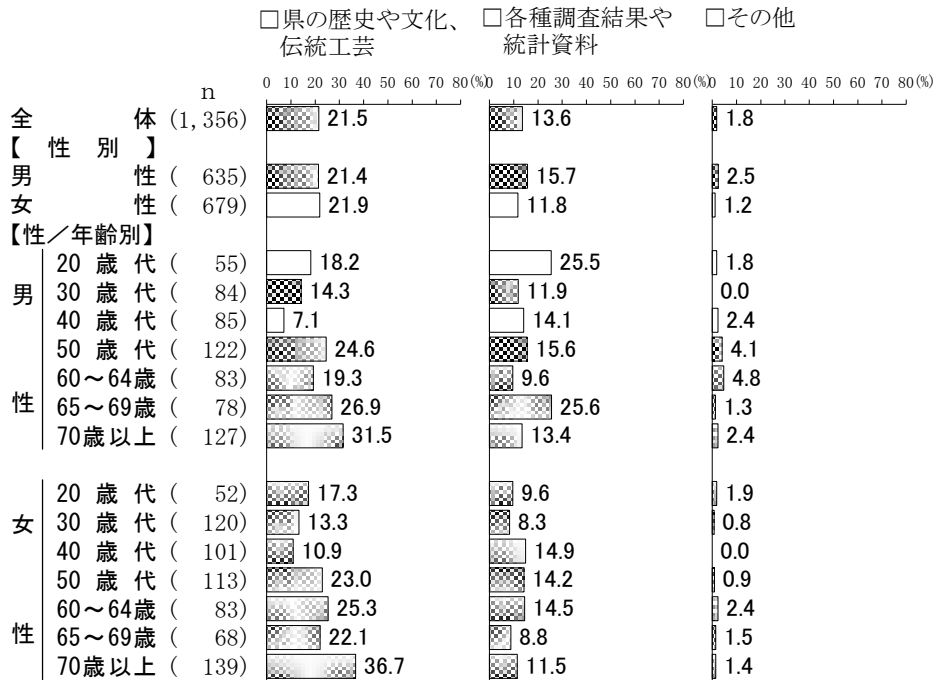
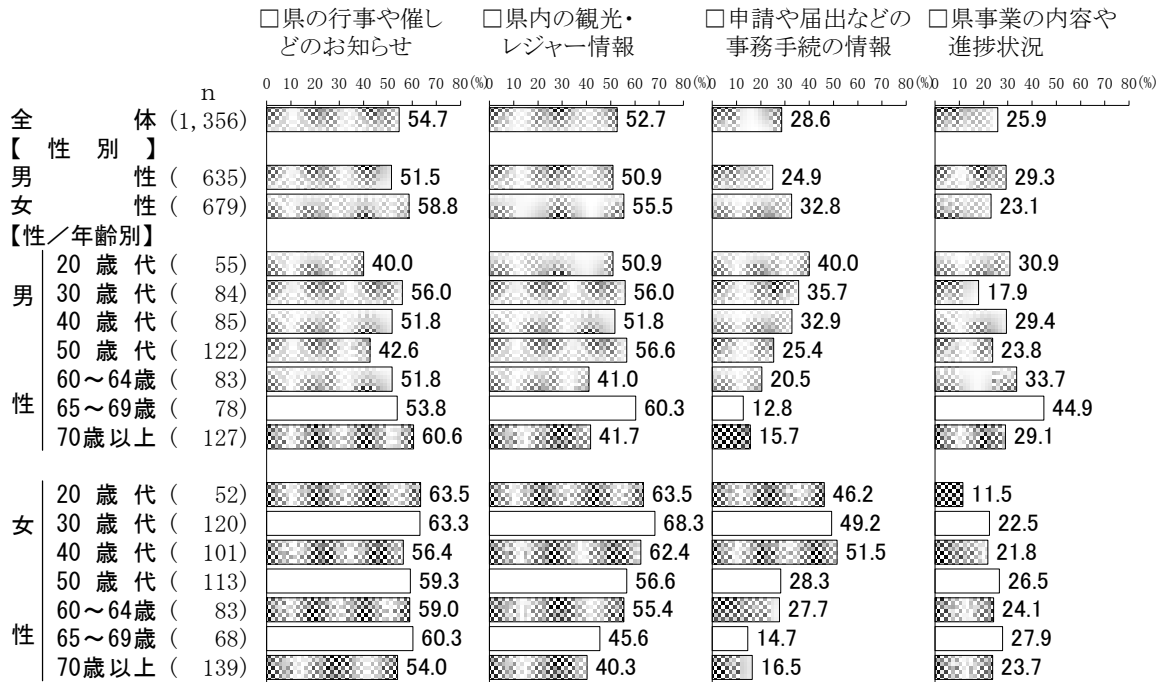
[n=1,356]

1	県事業の内容や進捗状況	25.9%	5	県の歴史や文化、伝統工芸	21.5%
2	申請や届出などの事務手続の情報	28.6	6	県内の観光・レジャー情報	52.7
3	各種調査結果や統計資料	13.6	7	その他	1.8
4	県の行事や催しなどのお知らせ	54.7		(無回答)	7.5



全体で見ると、「県の行事や催しなどのお知らせ」(54.7%)と「県内の観光・レジャー情報」(52.7%)がともに5割以上で最も高く、次いで「申請や届出などの事務手続の情報」(28.6%)、「県事業の内容や進捗状況」(25.9%)、「県の歴史や文化、伝統工芸」(21.5%)、「各種調査結果や統計資料」(13.6%)の順となっている。

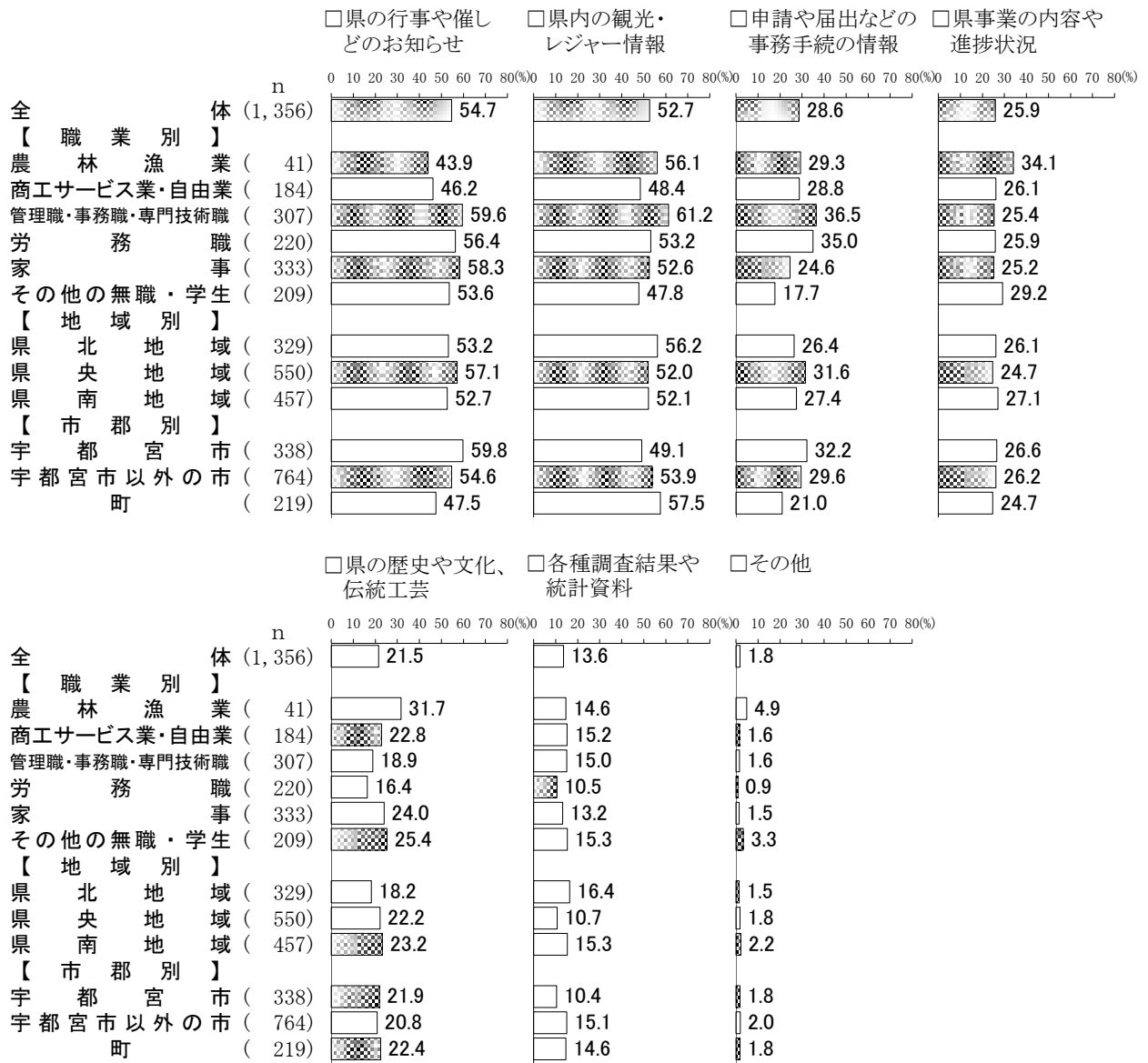
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「県の行事や催しなどのお知らせ」では〈女性〉(58.8%)が〈男性〉(51.5%)より7.3ポイント高く、「申請や届出などの事務手続の情報」では〈女性〉(32.8%)が〈男性〉(24.9%)より7.9ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「県内の観光・レジャー情報」では〈女性30歳代〉が68.3%と高くなっている。「申請や届出などの事務手続の情報」では〈女性40歳代〉が51.5%、〈女性30歳代〉が49.2%と高くなっている。「県事業の内容や進捗状況」では〈男性65～69歳〉が44.9%、「県の歴史や文化、伝統工芸」では〈女性70歳以上〉が36.7%と高くなっている。

[職業別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「県内の観光・レジャー情報」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が 61.2%と高くなっている。「申請や届出などの事務手続の情報」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が 36.5%、〈労務職〉が 35.0%と高くなっている。「県の歴史や文化、伝統工芸」では〈農林漁業〉が 31.7%と高くなっている。

地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

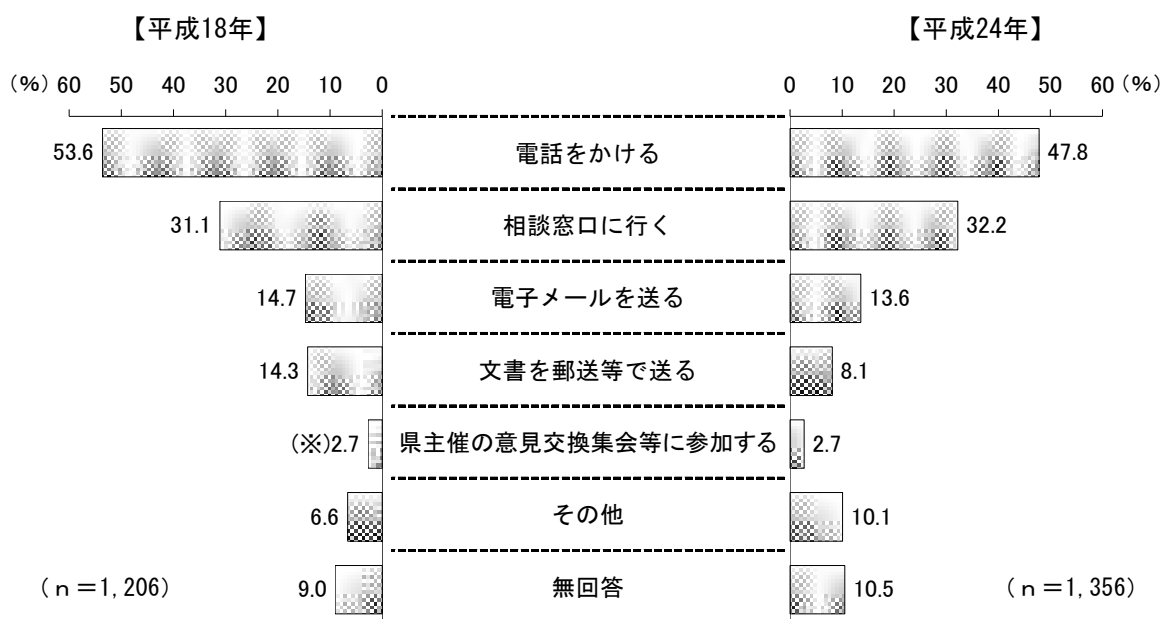
市郡別でみると、「県の行事や催しなどのお知らせ」では〈宇都宮市〉が 59.8%、「県内の観光・レジャー情報」では〈町〉が 57.5%と高くなっている。

## (6) 県に対する意見・提案等を行うときの手段

問16 あなたは、県に意見・提案等を行う場合、どのような方法で行いますか。  
次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,356]

1	相談窓口に行く	32.2%	4	電子メールを送る	13.6%
2	電話をかける	47.8	5	県主催の意見交換集会等に参加する	2.7
3	文書を郵送等で送る	8.1	6	その他	10.1
				(無回答)	10.5



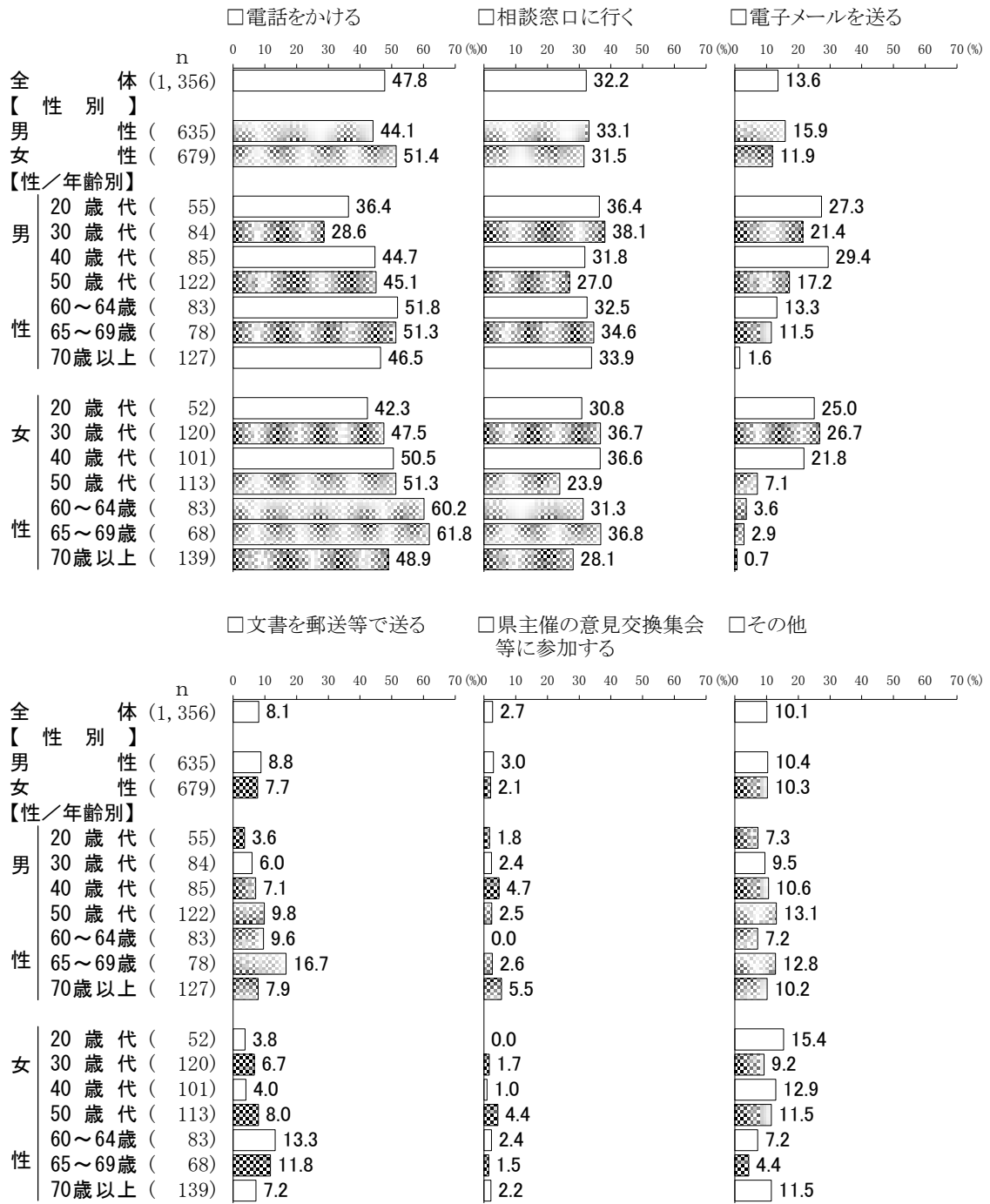
(※)平成18年調査では、「『とちぎ元気フォーラム』等の意見交換集会に参加する」としていた。

全体で見ると、「電話をかける」(47.8%)が5割近くで最も高く、次いで「相談窓口に行く」(32.2%)、「電子メールを送る」(13.6%)、「文書を郵送等で送る」(8.1%)、「県主催の意見交換集会等に参加する」(2.7%)の順となっている。

平成18年の調査結果と比較すると、「文書を郵送等で送る」が6.2ポイント減少し、「電話をかける」が5.8ポイント減少している。



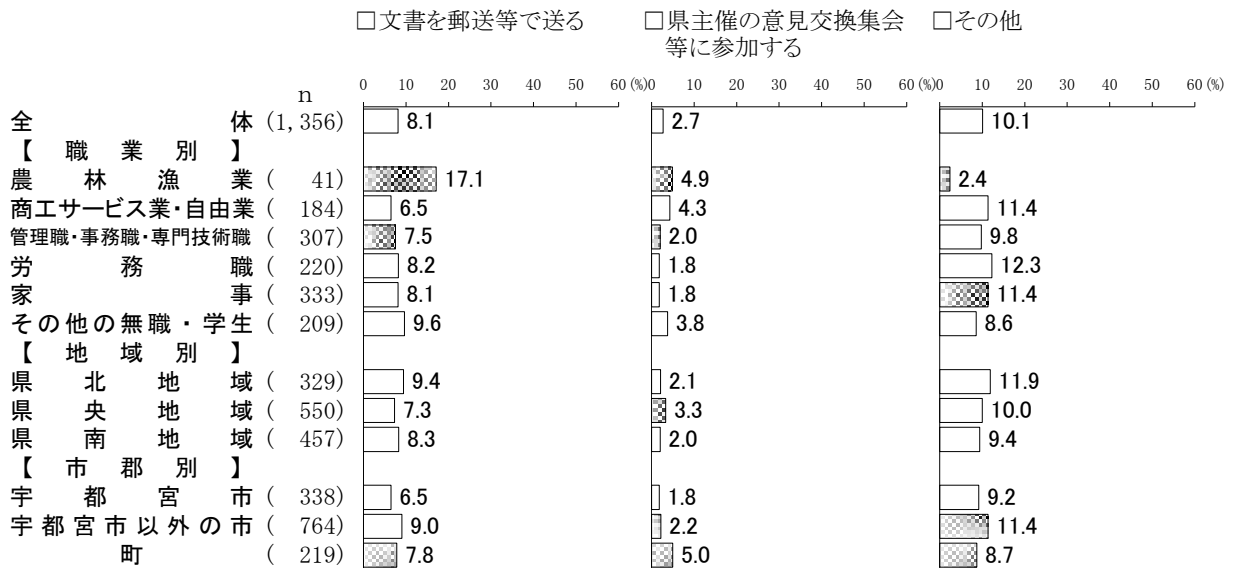
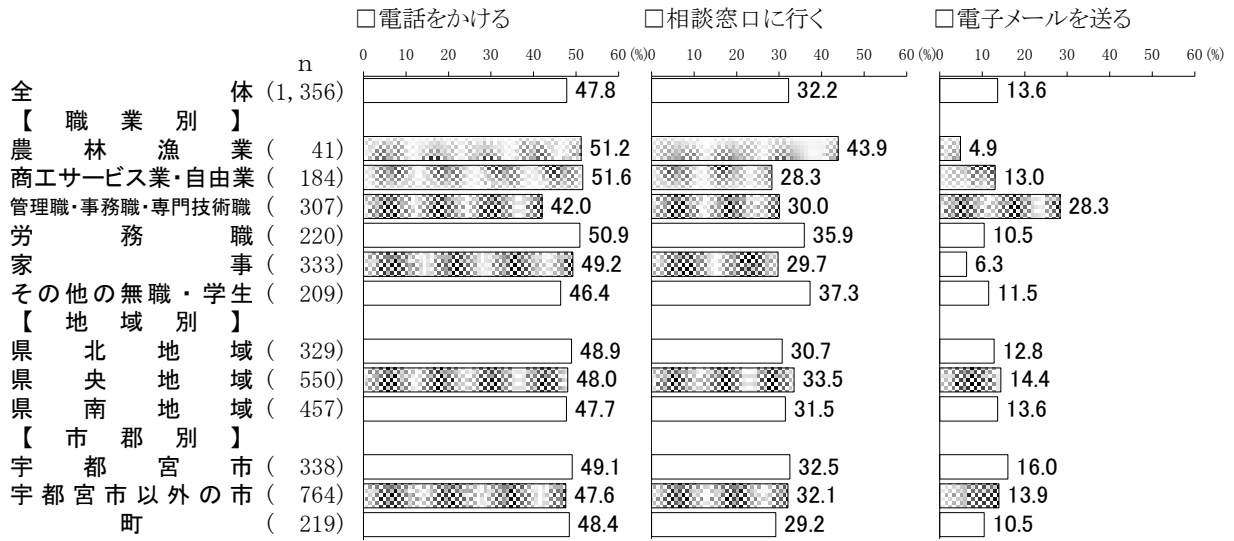
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「電話をかける」では〈女性〉(51.4%)が〈男性〉(44.1%)より7.3ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「電話をかける」では〈女性 65~69歳〉が61.8%、〈女性 60~64歳〉が60.2%と高くなっている。「電子メールを送る」では〈男女とも 20歳代から 40歳代の各年代〉がいずれも2割以上となっている。「文書を郵送等で送る」では〈男性 65~69歳〉が16.7%と高くなっている。

[職業別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「相談窓口に行く」では〈農林漁業〉が43.9%、「電子メールを送る」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が28.3%、「文書を郵送等で送る」では〈農林漁業〉が17.1%と高くなっている。

地域別でみると、ほぼ同じ傾向となっている。

市郡別でみると、「電子メールを送る」では〈宇都宮市〉が16.0%と高くなっている。